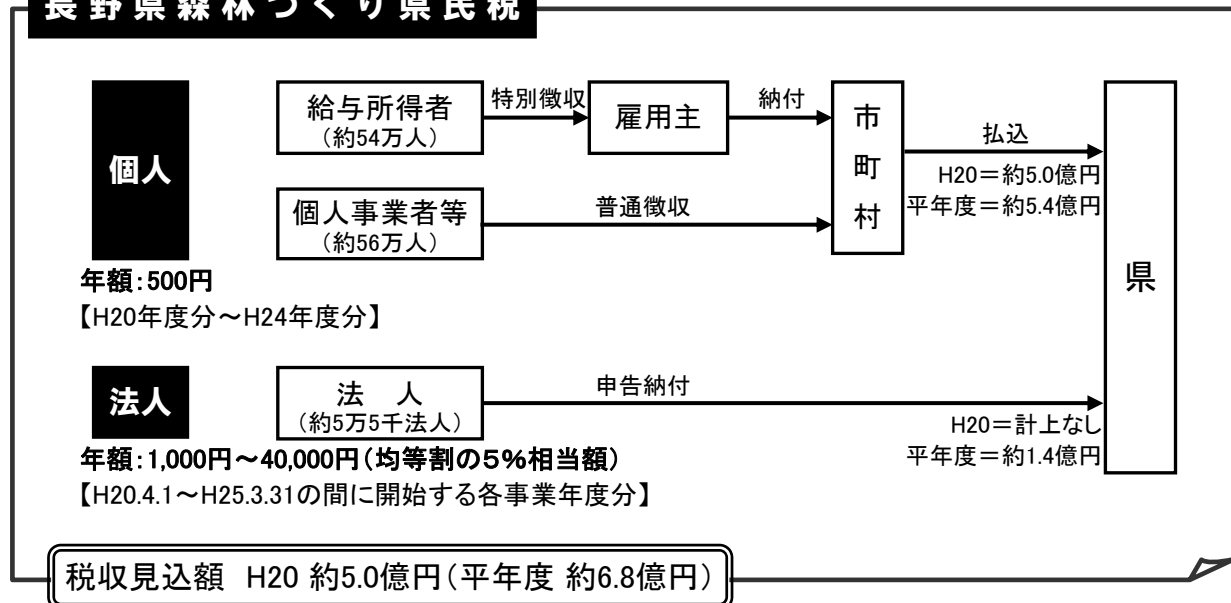


# 平成20年度 長野県森林づくり県民税活用事業

「緑の社会資本」である森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくため、森林の恩恵を受けている県民みんなで森林づくりを支える「長野県森林づくり県民税」を平成20年4月から導入し、間伐等の森林づくりを集中的に実施します。

## 長野県森林づくり県民税



## 長野県森林づくり県民税基金

国庫補助金等  
の一層の確保

「ふるさと信州寄付金」等により県外からも寄付を受け入れ、森林づくり事業の財源に活用します。

## 長野県森林づくり県民税活用事業

(みんなで支える森林づくり事業)

H20林務部予算額 約5.7億円  
 (国庫補助金 約2.1億円  
 基金繰入金 約3.6億円)

### ① 手入れの遅れている里山での間伐の推進

間伐の実行、地域ぐるみでの取りまとめ、人材育成の支援

H20基金繰入 約2.3億円  
(平年度 約5.2億円)

### ② 地域固有の課題に対応した森林づくりの推進

市町村が行う様々な森林づくり活動を支援

H20基金繰入 1.0億円  
(平年度 約1.4億円)

### ③ 県民や企業の森林づくりへの参加等の促進

普及啓発活動、企業等の多様な主体による森林づくりの促進

H20基金繰入 約0.3億円  
(平年度 約0.2億円)

～ みんなで支える ふるさとの森林づくり ～

手入れの遅れている里山での間伐の推進

H20予算額 439,853千円  
(基金繰入 233,647千円)

これまで整備が進まず、長い間放置されている集落周辺の里山において、地域ぐるみでの取組の支援や、間伐を推進・実行する人材の育成により、集中的な間伐を推進し、災害防止や集落水源の保全等の機能回復を図ります。

手入れの遅れている里山



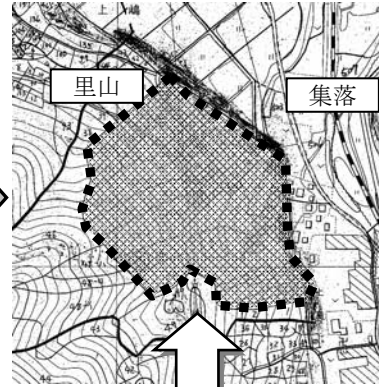
- 私有林が中心で、零細・分散する所有形態
- 不在村化等で所有者や所有界が不明確
- 高齢級や耕作放棄地等が入り組んだ森林

地域ぐるみでの同意等の取りまとめ

集約化

企画・提案・実行できる人材の育成

新たな取組で間伐を推進



- 国庫補助事業(公共造林事業)を活用し、補助率を嵩上げ
- 国庫補助事業対象外の森林が一部点在した場合も面的に整備

間伐  
実  
行

みんなで支える里山整備事業 (森林づくり推進課)

H20 404, 325千円

これまで整備が進めにくかった集落周辺の里山において、機能回復を図るための間伐等の森林づくりを面的に推進。(H20=2,000ha)

- 1 事業主体 市町村、森林組合、NPO法人等
- 2 対象区域 集落周辺の森林であり、市町村が必要と定めた区域
- 3 対象森林 整備が放棄され機能回復が必要な森林
- 4 対象事業 間伐及び間伐に付帯する事業
- 5 補助率 9/10以内 ※主伐や森林以外への転用を20年間制限する協定を締結

「里山整備モデル団地」を設定し県民へPR  
(地方事務所毎に1箇所以上)

条  
件  
整  
備

地域で進める里山集約化事業 (信州の木振興課)

H20 30, 000千円

里山に接する集落が主体となって、森林所有者に呼びかけ、地域ぐるみで所有界の明確化や整備の導入を得る活動を支援。(H20=2,000ha)

- 1 事業主体 自治会(区、集落等)、山林委員会、森林組合等
- 2 対象事業 里山整備計画の樹立と森林所有者から整備の同意を得る活動に対して助成
- 3 交付金額 15,000円/ha

人  
材  
育  
成

高度間伐技術者集団育成事業 (信州の木振興課)

H20 5, 528千円

集約的な森林づくりの企画や所有者への提案等ができる人材、集中的な間伐の中核的担い手となる人材の育成を支援。

- 1 事業主体 森林組合、林業者の組織する団体等
- 2 事業内容 施業プランナーや実践的林業機械総合オペレーター等の育成、効率的な間伐実践や施業集約化等に関する普及啓発
- 3 補助率 1/2以内

活用事業 **2**

**地域固有の課題に対応した森林づくりの推進**

H20予算額 100,000千円  
(基金繰入 100,000千円)

地域における住民の意向や実情に精通している市町村が行う、きめ細かな森林づくり活動の取組を支援します。

市町村支援

**森林づくり推進支援金** (森林政策課)

H20 100,000千円

地域固有の課題に対応した、森林整備の推進や間伐材の利用促進等を行うための市町村の取組を支援。

- 1 事業主体 市町村
- 2 支援金の交付額 10/10以内  
(施設整備費は2/3以内)

**主な交付対象事業(例示)**

- 1 森林整備の推進
  - ・間伐補助事業の嵩上げ(拡充分)
  - ・鳥獣被害防止緩衝帯整備
  - ・松くい虫被害防除
- 2 間伐材利用の促進
  - ・公共施設等での内装木質化
  - ・木製品等の導入
  - ・間伐材の教材等への材料提供
- 3 県民参加の促進
  - ・地域住民への普及啓発活動
  - ・森林環境教育の実施
  - ・住民等の森林づくり活動の支援
- 4 特認事業

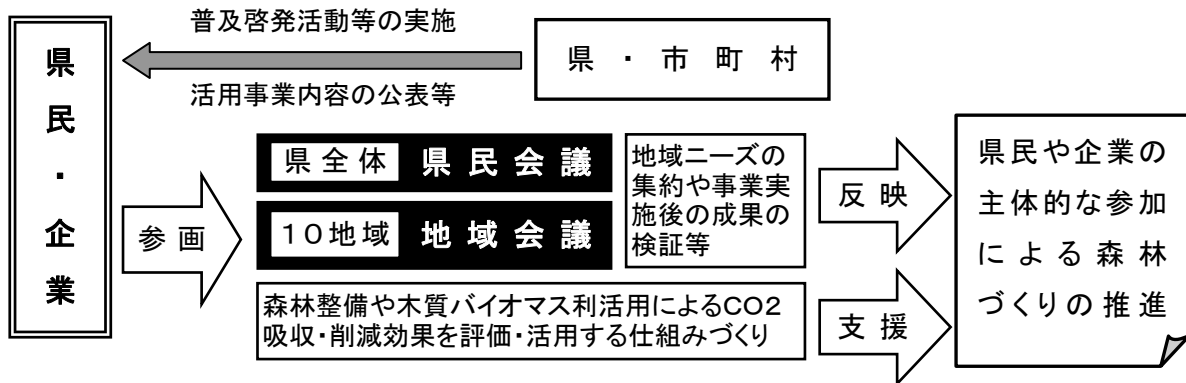
活用事業 **3**

**県民や企業の森林づくりへの参加等の促進**

H20予算額 31,206千円  
(基金繰入 31,206千円)

県民等の理解と参加・協力による森林づくりを進めていくため、「長野県森林づくり県民税」の仕組みや活用事業の内容、森林づくりの必要性等について、周知や意識の醸成を図るとともに、新たな「県民参加」の仕組みによる森林づくりを推進します。

また、森林整備や木質バイオマス利活用によるCO2吸収・削減効果を評価・活用する仕組みを構築し、企業等による森林整備への支援を促進します。



県民参加

**みんなで支える森林づくり推進事業** (森林政策課ほか)

H20 24,206千円

森林づくりに対する県民等への普及啓発活動や、県民会議等の開催による税活用事業の実施後の成果の検証、多様な主体による森林づくりへの参加促進等を実施。

- ◇ 広報・普及啓発活動の実施 (リーフレット等の作成配布、シンポジウムの開催等)
- ◇ 県民参加による「県民会議」及び「地域会議」の開催
- ◇ 企業等の社会貢献活動の誘導、CO2吸収・削減効果を評価・活用する仕組みづくり

学習活動

**木育推進事業** (信州の木振興課)

H20 7,000千円

次代を担う子供達や地域住民が里山や地域材に目を向け、森林づくりへの理解と協力を得るための取組を推進。(木育推進員の派遣、手作り活動の支援及び普及啓発等)

# 長野県森林づくり県民税活用事業(みんなで支える森林づくり事業)一覧

(単位:千円)

事業区分	事業内容	平成20年度当初予算額	
		総額	うち 森林づくり 県民税分
<b>手入れの遅れている里山での間伐の推進</b>		439,853	233,647
<b>【間伐実行の支援】</b> みんなで支える里山整備 事業補助金 (森林づくり推進課)	これまで整備が進めにくかった集落周 辺の里山において、機能回復を図るため の間伐等の森林整備(2,000ha)を行う経 費を助成します。	404,325	198,119
		(うち国庫206,206千円)	
<b>【条件整備の支援】</b> 地域で進める里山集約化 事業交付金 (信州の木振興課)	里山に接する集落が主体となって、森 林所有者に呼びかけ、地域ぐるみで所有 界の明確化や整備の導入を得る活動を支 援します。	30,000	30,000
<b>【人材育成の支援】</b> 高度間伐技術者集団育成 事業費 (信州の木振興課)	集約的に行う森林づくりの企画、森林 所有者への提案等ができる人材や、集中 的な間伐実施の中核的担い手となる人材 の育成を支援します。	5,528	5,528
<b>地域固有の課題に対応した森林づくりの推進</b>		100,000	100,000
<b>【市町村への支援】</b> 森林づくり推進支援金 (森林政策課)	地域固有の課題に対応した、森林整備 の推進や間伐材の利用促進等を行うため の市町村の取組を支援します。	100,000	100,000
<b>県民や企業の森林づくりへの参加等の促進</b>		31,206	31,206
<b>【普及啓発等の実施】</b> (森林づくり全般) <b>【県民参加の仕組み】</b> みんなで支える森林づく り推進事業費 (森林政策課) (信州の木振興課) (森林づくり推進課)	森林づくりについての県民等への広報・普 及啓発活動や、県民の代表等による「県民会 議」と「地域会議」の開催、多様な主体による 森林づくりの促進により、県民等の理解と参 加・協力による森林づくりを進めます。	24,206	24,206
<b>【普及啓発等の実施】</b> (学習機会の提供) 木育推進事業費 (信州の木振興課)	次代を担う子どもたちや地域住民が里山や 地域材に目を向け、森林づくりへの理解を得 るための取組を支援します。	7,000	7,000
<b>林 務 部 予 算 額 計</b>		571,059	364,853
<b>その他</b>		9,832	9,832
<b>【税務電算システム改修】</b> (総務部税務課)	長野県森林づくり県民税導入に伴い、県税 務電算システムの改修を実施します。	9,832	9,832
<b>合 計</b>		580,891	374,685

# みんなで支える里山整備事業

森林づくり推進課

## 事業の趣旨

里山の集落周辺の森林は、生活に密着し、県民にもっとも親しまれている森林でありながら、所有が零細で分散するなど、手入れが行い難く、災害の危険や野生鳥獣の潜伏場所となるなど、せつかく集落周辺にありながら、森林と人との多様な結びつきが途切れてしまう危機的な状況にある。こうしたことから、集落周辺の森林の機能回復を重点的に進めるため、長野県森林づくり県民税を導入し、集落をあげて集落周辺の間伐を面的に推進する。

## 1 予算額

404,325千円

(国庫206,206千円、  
基金繰入金198,119千円)

## 2 事業実施主体

市町村、  
森林組合、  
NPO法人等

## 3 事業内容

### (1) 対象区域

里山の集落周辺の森林であり、集落をあげた対策が行われ、市町村が必要と定めた区域

### (2) 対象森林

整備が放棄され機能回復が必要な森林

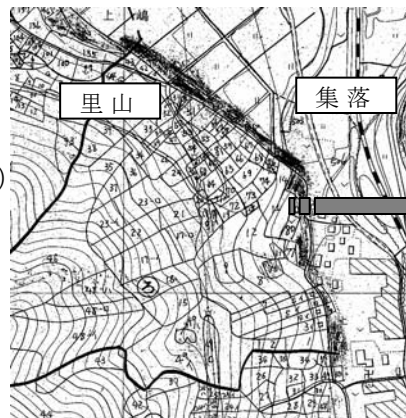
### (3) 対象事業

間伐

### (4) 補助率

9/10

※ただし、事業の実施に当たっては、主伐・転用を20年間制限する協定の締結が必要

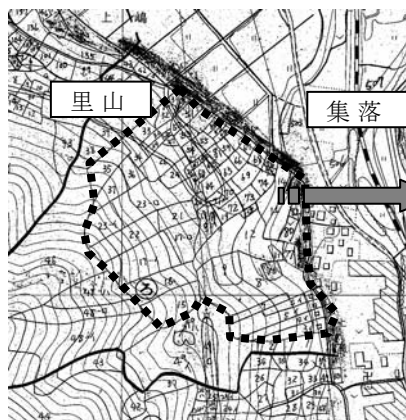


(現状)

- 私有林が中心
- 零細・分散する所有形態
- 不在村化等で所有者や所有界が不明確
- 高齢級や耕作放棄地など入り組んだ森林
- 整備が停滞

集約化

集落の力で同意等の取りまとめ(地域で進める里山集約化事業で支援)



- 公共造林事業の補助残を高上げ
- 公共造林事業補助対象外森林が一部点面在した場合も面的に整備

# 地域で進める里山集約化事業

信州の木振興課

## 事業の趣旨

小規模個人有林が多く荒廃が進んでいる里山の森林整備を進めるため、区・集落など地域が主体となり、集落周辺の里山整備計画の樹立と森林所有者の同意を得る活動に対し支援を行います。

## 平成 20 年度事業

- 予算額 30,000千円 (基金繰入金)
- 交付金額 15,000円/ha
- 事業主体 自治会組織(区、集落など)、森林整備委員会、森林組合等
- 事業対象 集落周辺の里山
- 事業量 2,000ha
- 事業内容

里山整備計画の樹立と森林所有者から森林整備の同意を得る活動に対し助成

- ・ 森林所有者との調整(不在村含む)、境界の明確化、説明会、施業同意書徴取等
- ・ 本事業実施地は原則として翌年度までに森林整備の実行を必須とする。

## 現状：里山の危機

### 里山の森林所有者は

- ・ 森林の財産価値低下
- ・ 境界が不明確
- ・ 林業経営の意欲減退

### 地域では里山の荒廃が年々深刻に

- ・ 集落周辺の里山の荒廃懸念
- ・ 野生鳥獣被害が年々拡大
- ・ 里山と住民の関係が希薄に

信州の森林づくりアクションプランの実行でも里山が大きな課題！  
～森林所有者任せでなく地域ぐるみで取り組むことが必要な時～

## 里山の新たな展開が必要

地域が主導し、周辺の里山整備を進める

### 「地域で進める里山集約化事業」

地区で説明会を開催し、地区ぐるみで里山整備を進める意識を統一します。



## 事業効果

- 本事業を実施することで、手入れが遅れている里山の一体的な整備が促進される
- 地域住民主体で森林整備を進めることにより、住民の森林への関心が高まる
- 地域主導で行うことで、不在村者の所有森林の整備も進めることができる
- 地域周辺の里山の整備が進むことで、減災対策や野生鳥獣被害対策に寄与する

# 高度間伐技術者集団育成事業

～森林づくりアクションプラン実現の中核となる「高度間伐技術者集団」の育成～

信州の木振興課

## 1 事業の趣旨

森林づくり県民税活用事業による集中的な間伐実施の中核的な担い手として、それぞれの施業地に最適な間伐計画を立案し、作業路網や各種の高性能林業機械を組合わせて、効率的な間伐を行う「高度間伐技術者集団」の育成・編成を支援するとともに、効率的な間伐実践や施業集約化に係る普及啓発を行う。

## 2 平成20年度事業

(1) 予算額 5,528千円 (基金繰入金)

### (2) 事業内容

事業内容	事業主体	補助率	予算額
<b>○ 施業プランナーの育成</b> 森林の団地的な管理、経営、企画、森林所有者への提案等ができる人材(施業プランナー)を育成 ・外部講師による施業プラン作成、コスト計算等の研修 ・団地を設定して実際に施業提案を実践し、検証 等	森林組合、林業者の組織する団体等	1/2以内	1,163千円
<b>○ 実践的林業機械総合オペレーター育成</b> 作業路と高性能林業機械を組合わせて、低コストで効率よく間伐を実施できる人材を育成 ・新たな高性能林業機械の実践操作研修 ・作業路開設及び作業路を利用した搬出間伐の実践研修 等			3,857千円
<b>○ 効率的間伐実践・施業集約化に関する普及啓発</b> 効率的な間伐技術の普及啓発を支援するとともに、森林組合による長期施業受託や施業集約に係る普及啓発を実施			508千円
合計			5,528千円

## 3 事業実施計画

実施年度	事業体数	H20	H21	H22	H23	H24
H20	10	●	○	○	○	○
H21	5		●	○	○	○
H22	5			●	○	○

●・・・育成・訓練  
○・・・実践・普及活動



# 森林づくり推進支援金

森林政策課

## 1 趣 旨

地域における住民の意向や実情等、地域固有の課題に精通している市町村との連携により、きめ細かな森林づくり活動の取り組みを支援するため、市町村が独自性と創意工夫により事業展開するための経費に対して支援する。

## 2 事業概要

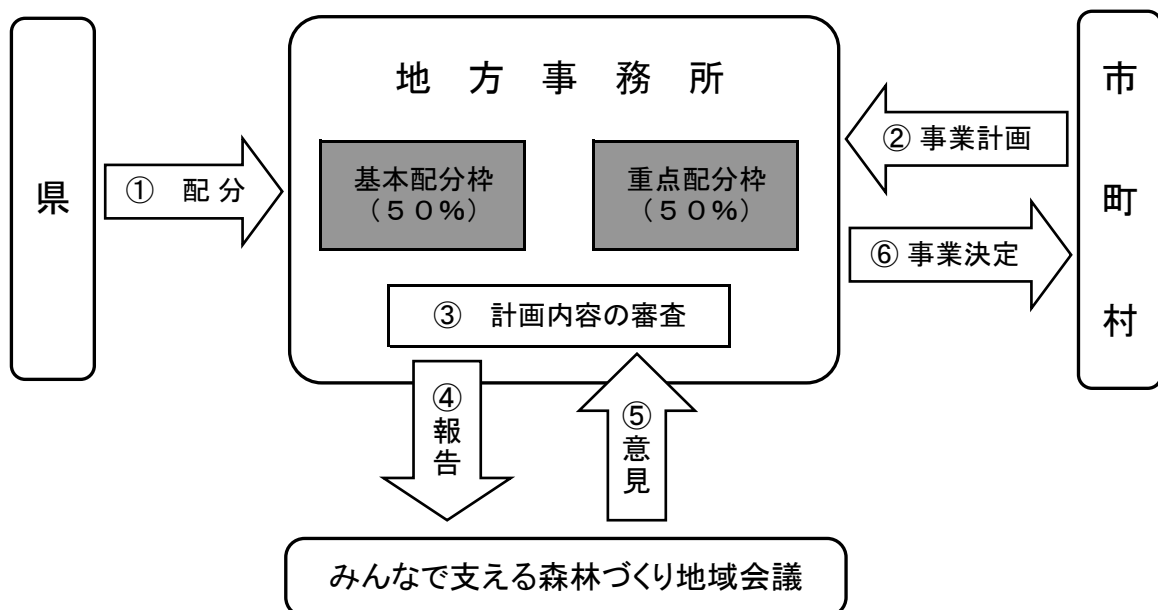
### (1) 事業主体

市町村（市町村において間接補助可）

### (2) 実施方法

各市町村への配分枠として「基本配分枠」と「重点配分枠」を設けて申請を受け、地方事務所ごとに設置する「みんなで支える森林づくり地域会議」の意見等を踏まえて交付額を決定。

- \* **基本配分枠** ・各市町村が担うべき基本的な取組に対して一定の支援を行う。  
・予算額の50%とし、市町村ごとに均等割、納税義務者数割及び民有林面積を算定因子として配分。  
・目的、内容等を審査し、地方事務所長が交付額を決定。  
（地域会議へは報告）
- \* **重点配分枠** ・市町村の意欲的な取組の支援を行う。  
・予算額の50%とし、地方事務所ごとに間伐計画面積等を算定因子として配分し、市町村の申請に応じて交付。  
・目的、内容等を審査し、地域会議での意見を踏まえて、地方事務所長が交付の可否及び交付額を決定。





### (3) 支援金交付対象事業

交 付 対 象 事 業	<p>地域の実情、固有の課題や住民からのニーズに対応した次に掲げる森林づくり関連施策で、「長野県森林づくり県民税」の趣旨に即した事業</p> <p>① 森林整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 間伐事業における所有者負担の軽減を図るための新たな取組</li> <li>・ 市町村独自の森林整備の取組</li> </ul> <p>② 間伐材利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示効果の高い公共施設や学校施設等での間伐材の利活用</li> <li>・ 木質バイオマスの利活用促進 など</li> </ul> <p>③ 県民参加の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民等の森林づくり活動への参加促進 など</li> </ul> <p>④ 特認事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上記以外で、森林づくりに関連する取組で特に必要と認められる事業</li> <li>・ 森林づくり県民税導入に伴う普及啓発等の諸経費（初年度に限る）</li> </ul>
----------------------------	---

#### (交付対象としない事業)

- ・ 県が交付する補助金等の交付対象となる事業。ただし、市町村独自の嵩上げ補助に係る森林整備事業及び地域発元気づくり支援金は除く。
- ・ 地域発元気づくり支援金の交付を受けた事業。
- ・ 国の支出する支出金及び補助金等の交付を受けた事業。
- ・ 国又は県が出資する財団法人等から助成金の交付を受けた事業。
- ・ 分担金又は負担金としての市町村支出事業。
- ・ その他、長野県森林づくり県民税の趣旨に則さない事業。

### (4) 支援金の交付額

10/10以内（施設整備費については2/3以内）

### 3 予算額

100,000千円（基金繰入金）

#### ■ 5ヶ年計画

当該支援金については、長野県森林づくり県民税にかかる税収の2割相当額とする。

（単位：千円）

年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
税収見込額	500,570	668,489	679,383	679,383	679,383
森林づくり 推進支援金	100,000	134,000	136,000	136,000	136,000

# みんなで支える森林づくり推進事業

森林政策課

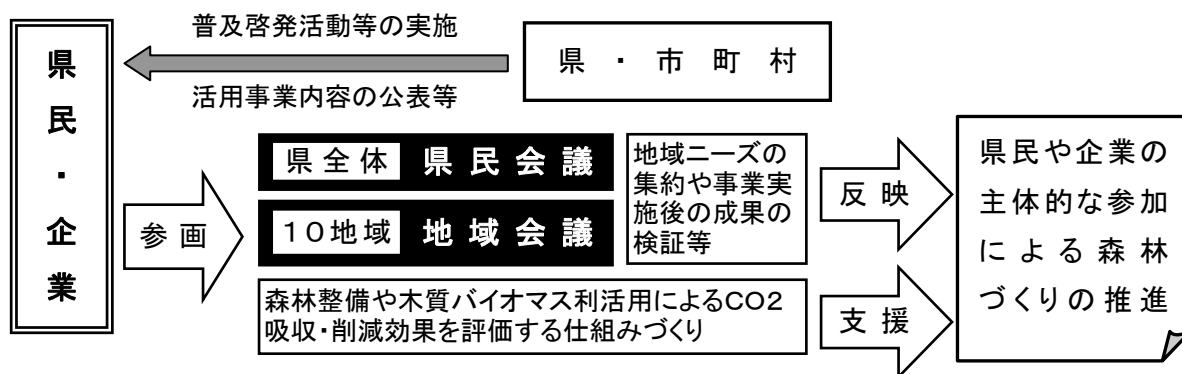
## 1 趣 旨

県民等の理解と参加・協力による森林づくりを進めていくため、「長野県森林づくり県民税」の仕組みや活用事業の内容、森林づくりの必要性等について、周知や意識の醸成を図るとともに、新たな「県民参加」の仕組みによる森林づくりを推進する。

また、森林整備や木質バイオマス利活用によるCO<sub>2</sub>吸収・削減効果を評価する仕組みを構築し、企業等による森林整備支援の受け皿づくりを行う。

2 予算額 24,206千円 (基金繰入金)

## 3 事業概要



区分・事業名	事業内容	予算額
<b>新たな制度の周知</b>		
広報・普及啓発費 (森林政策課)	県民等に対し、新たな仕組みや事業内容について周知するとともに、森林づくりの必要性等についての意識の醸成を図る。 ◇リーフレットや各種広報媒体の活用による普及啓発 ◇シンポジウムの開催 ◇里山整備モデル団地でのPR看板の設置	15,560千円
<b>県民参加による森林づくりの推進</b>		
県民会議等開催費 (森林政策課)	県民の代表等による第三者機関を設置し、地域ニーズの集約や事業実施後の成果の検証等を実施する。 ◇県民会議(県内一円:10名程度で構成) ◇地域会議(地方事務所単位で設置:10名程度で構成) ◇構成員:有識者、市町村の代表、県民や企業の代表等	5,969千円
<b>多様な主体による森林づくりの促進</b>		
森林の里親促進事業 (信州の木振興課)	県が仲立ちとなり、荒廃した里山や山村集落へ、森林整備や木質バイオマス利活用によるCO <sub>2</sub> 吸収・削減に意欲的な企業等の社会貢献活動を誘導し、地域の活性化を促進。 ◇PR用パンフレットの作成等による普及啓発活動 ◇企業等への説明会の開催	800千円
地球温暖化防止 吸収源対策推進事業 (森林づくり推進課)	森林整備によるCO <sub>2</sub> 吸収量を評価する仕組みづくりを通じ、企業等による森林整備を促進。 ◇有識者による委員会の開催 (森林整備によるCO <sub>2</sub> 吸収量を評価し認証する仕組みづくり)	450千円
カーボンオフセット システム構築事業 (信州の木振興課)	木質バイオマス利用によるCO <sub>2</sub> 削減量を評価する仕組みづくりを通じ、企業等の支援による木質バイオマス利活用を推進。 ◇企業や木質バイオマス供給者等による検討会議の開催 (カーボンオフセットシステムの仕組みづくり) ◇木質バイオマスの流通量や市場規模の調査	1,427千円
計		24,206千円

# 森林(もり)の里親促進事業

～企業等の森林整備支援によるふるさとの森林づくり～

信州の木振興課

## 1 事業の趣旨

社会経済構造の変化に伴い荒廃した里山や山村集落へ県が仲立ちとなり、企業等の社会貢献活動を誘導し、森林整備の活用と交流を通じた新しい森林づくりによる地域活性化を図る。

## 2 平成20年度事業

事業区分	事業内容	事業主体	予算額 (基金繰入金)
普及啓発活動	企業や地域への説明パンフレットの作成	県	118千円
	企業参加を促進するため、東京等で行われるイベントにおいて説明会を実施		682千円
計			800千円

## 3 事業効果

- (1) 森林整備に企業の資金力が活用できる。
- (2) 集落の活性化が図られる。
- (3) 都市と山村の交流が図られる。
- (4) NPO等と連携することにより、永続的に企業と連携した森林整備が推進できる。

## 4 事業実施期間

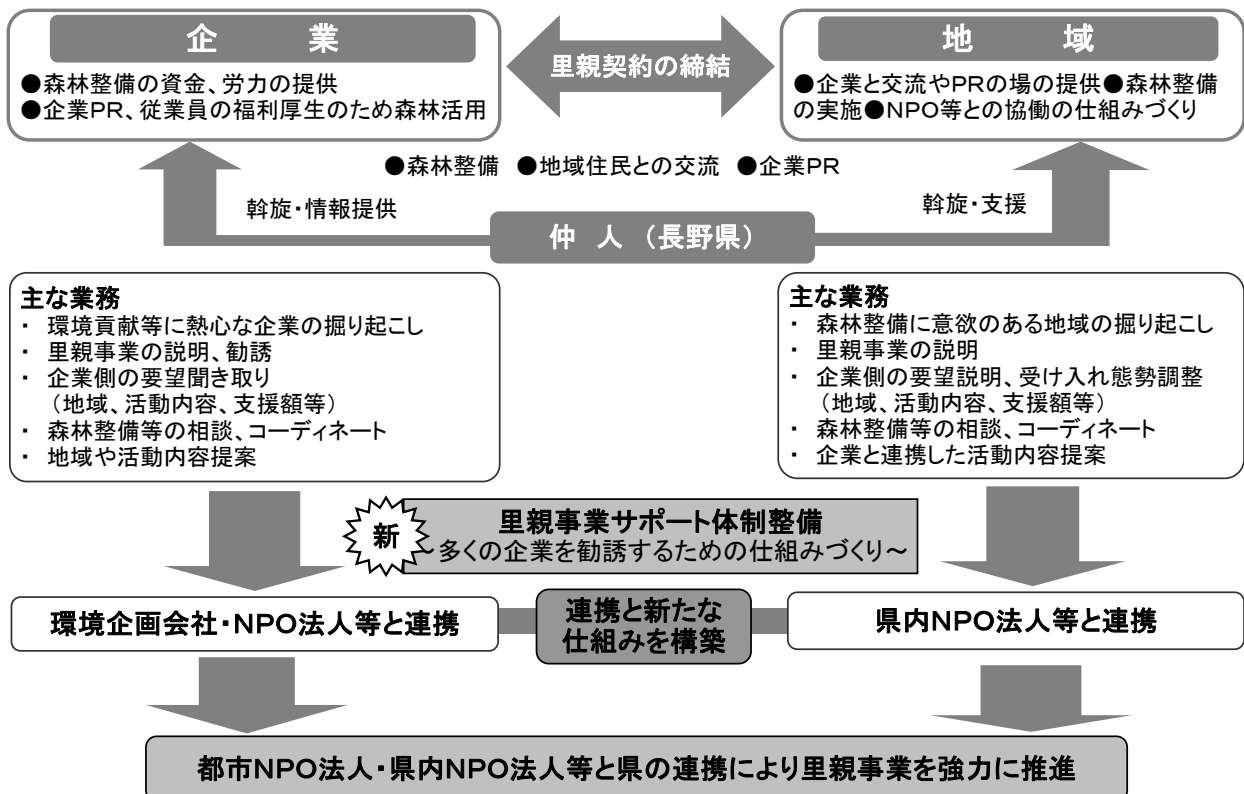
平成15年度 ～ 平成24年度

## 5 昨年までの成果

(ゼロ予算事業として実施)

- (1) 実施状況 : 社会貢献に熱心な企業等、約195社に事業を紹介し、営業した。
- (2) 成果 : 26件契約済み、パンフレット作成と事業紹介
- (3) 課題・問題点 : 広報活動の展開、地元との調整、営業後のアフターケア

## 里親促進事業の仕組み



# 地球温暖化防止吸収源対策推進事業

森林づくり推進課

- 地球温暖化防止対策は喫緊の課題であり、中期総合計画に基づき積極的な推進が必要である。
- 最近では、環境問題を契機として民間企業の社会貢献意欲が高まりを見せていることから、こうした動きを積極的に取り入れ、森林整備へとつなげていくため、CO<sub>2</sub> 吸収量の評価に関する仕組みづくりや吸収量の認証を行い、もって間伐等の森林整備を加速化する。

## 1 事業内容

### CO<sub>2</sub> 吸収量の評価・認証等の取組

森林整備を行う小範囲の森林を対象とした、きめ細やかな評価・認証の仕組みについて、学識経験者からなる委員会を組織し、検討する。

また、検討結果に基づき、民間企業等の意欲を高めるため、間伐が行われた森林において CO<sub>2</sub> の評価・認証を行う。

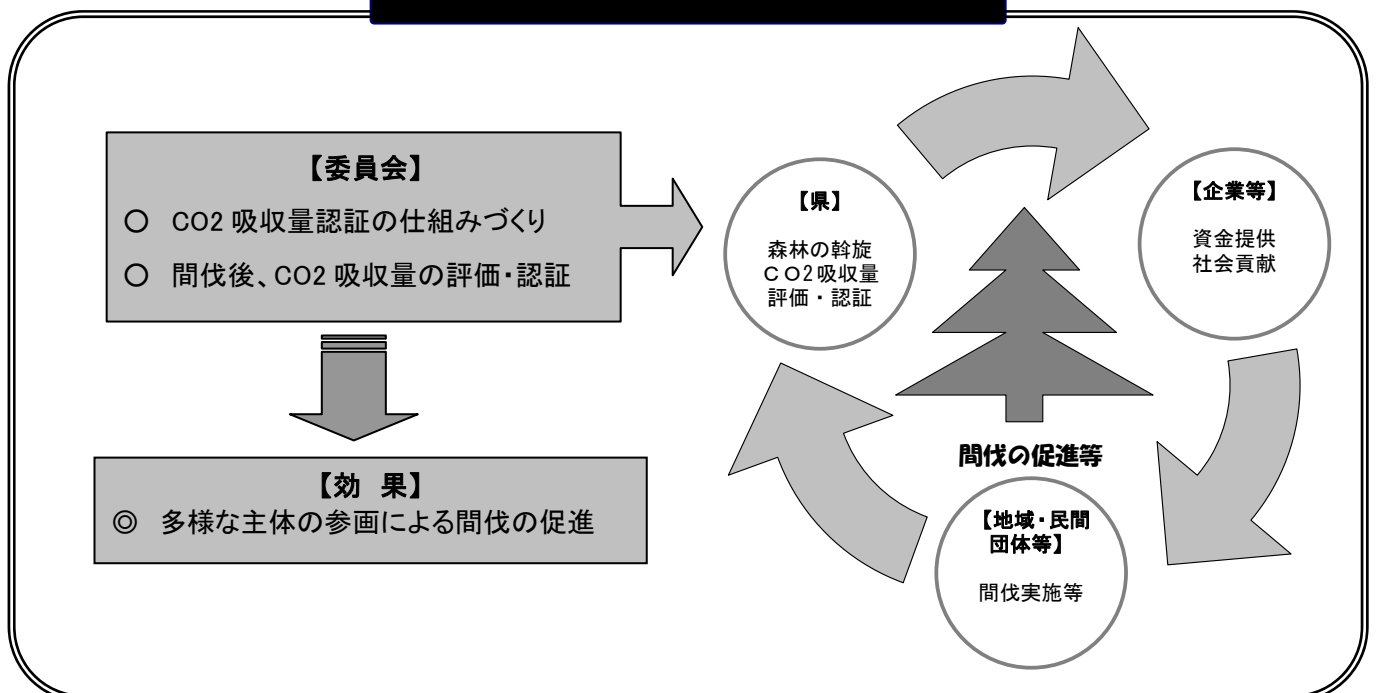
## 2 事業主体

県

## 3 予算額

450千円（基金繰入金 450千円）

### CO<sub>2</sub> 吸収量の評価・認証



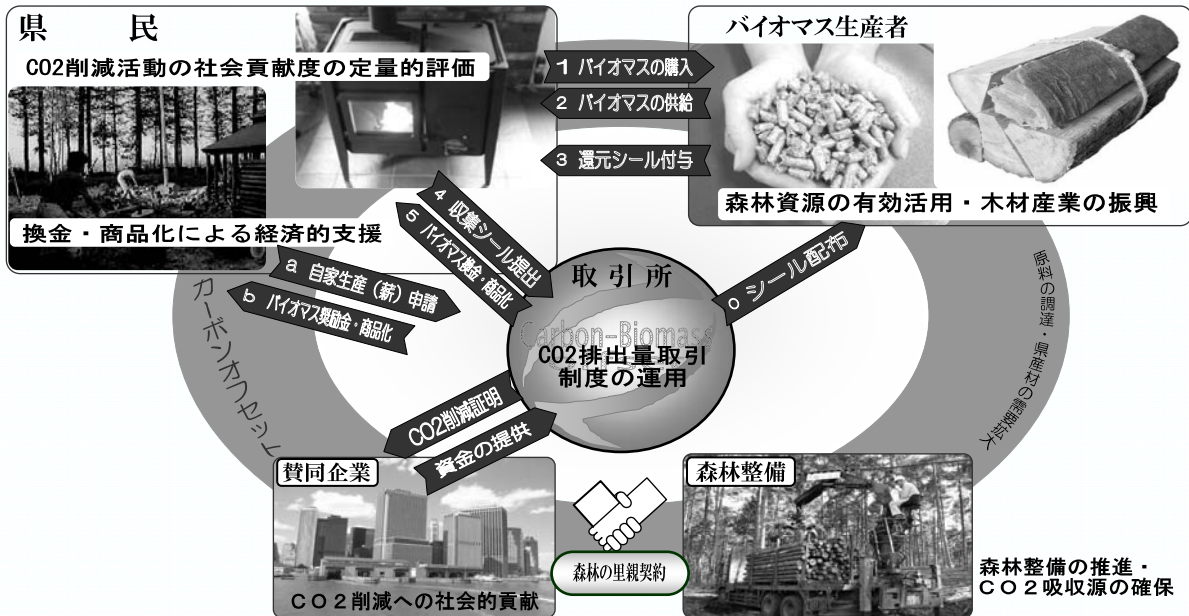
# カーボンオフセットシステム構築事業

信州の木振興課

## 1 事業の趣旨

県民が木質バイオマスを利用してCO<sub>2</sub>の削減に貢献している活動を定量的に評価する仕組みを企業等との協働で構築し、地球温暖化防止のための実践的な取組を支援するとともに、森林資源の有効活用を通じて健全な森林づくりを進めます。

## 2 事業の仕組み



## 3 事業スケジュール

事業区分	年度	H20	H21	H22
制度確立・指導監査 (事業主体：県)		→		
市場調査 (事業主体：県)		→		
制度試行・運用 (事業主体：NPO等)			試行 →	運用 →
取引所運営 (事業主体：NPO等)				→
普及啓発 (事業主体：県)			→	
企業からの資金提供			→	

## 4 平成20年度事業内容

予算額 1,427千円（基金繰入金）

事業区分	事業内容	事業主体	予算額
制度確立	○ 制度確立委員会（開催回数：5回） 県民、NPO等(以上公募)、木質バイオマス生産者、賛同予定企業、金融機関等により委員を募り制度設計を行う。	県	427千円
市場調査	○ 調査項目 ・バイオマス利用施設調査・資源量調査 ・取引所引受先・賛同企業調査		1,000千円

## 5 事業効果

- 県民が直接CO<sub>2</sub>の吸収実行者となり、その社会貢献度を公的に評価されることにより、一層の意識の向上と広範な県民への普及が図られます。
- 企業等のCO<sub>2</sub>削減に向けた取組が定量的に評価され、社会貢献度が公的に評価されます。
- 木質バイオマス利用による木材産業の振興と、森林資源の有効活用が図られます。

# 木育推進事業

信州の木振興課

## 1 事業概要

里山等の身近な森林や森林資源を活用した、大人から子どもまで参加できる学習機会としての木育活動を推進するため、木育推進員の派遣、手作り活動の支援及び普及啓発を行い、健全な森林育成に対する意識の高揚を図るとともに、木育を通じて地域に根差した心豊かな県民性を育む。

## 2 平成20年度予算額

### (1) 予算額

7,000千円（基金繰入金）

### (2) 事業内容

（単位：千円）

区分	事業区分	事業内容	事業主体	補助率	予算額
現 地 機 関 執 行 分	木育推進員の派遣	各地域で行われる木育推進活動へ推進員を派遣	県	—	460
	木育推進地域活動への支援	県内10地域の木育推進活動を、地域会議の意見を聴いた上で助成 現地機関単位配分枠（標準）：500千円 活動メニュー ① 資材等譲与型：50万円を上限に資材を提供 ② 地域活動型：里山整備、森林教室等の開催	市町村 学 校 N P O 等	10分の10以内	5,000
本 庁 執 行 分	木育推進県域活動への支援	県内小中学生を対象とした手作り木育コンテストの開催支援	長野県木材青壮年団体連合会	2分の1以内	700
	木育手引き書の作成	木育推進活動の成果を集約し、今後の木育推進活動の手引きとなる冊子を作成 作成予定部数：1,000部	県	—	840
計					7,000

## 3 事業の実施方法

